

建築コンサルティング事業

関連SDGs



Consulting division

● 地場建設業界の発展に貢献

地域の家づくりを支える中小工務店を中心に、全国のビルダー・工務店に対して、経営・商品・集客・営業という4つのカテゴリーの課題解決のための分析に基づいたソリューションを提供し、永続できる強い会社づくりを支援しています。近年では経営者の高齢化などにより社会課題となっている事業承継問題の解決にも取り組み、地場住宅産業の持続・発展に貢献しています。

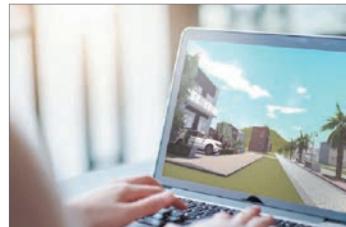


● DX化の促進をサポート

オープンイノベーションを通してITを活用した商品を開発・提供することで、地場工務店にとって導入ハードルの高いDXへの取り組みをサポートしています。

メタバース住宅展示場システム

時と場所を選ばず、工務店とエンドユーザーを繋ぐプラットフォームをメタバース上に構築しました。外壁の色やドアのデザインなど細かくカスタマイズ可能なため、エンドユーザーの希望に沿った住宅イメージを提案することができます。



無料会員サービスの拡充

AIによる住宅ローン比較マッチングやクラウド型工事原価管理ツールをはじめ、複数のITコンテンツを盛り込んだ無料サービスを提供しています。サービス内では、業務効率化だけでなく、環境対応住宅の建築サポートも対応しています。



● 健康・環境に配慮した家づくり

高い省エネ性能および耐震性を兼ね備えた長期優良住宅や、自然素材住宅の建築ノウハウをパッケージ化した商品を提供することで、環境や安全に配慮した家づくりを推進しています。

また、建築現場における適切な資材活用による廃材の削減や、国産材を使用することによる森林の持続可能サイクル構築など、環境保全の取り組みを支援しています。



● 地域のインフラ強化に寄与

環境への配慮と、「家を建て終わってからも楽しい暮らし」をテーマとした高性能な住宅の建築ノウハウ商品を展開しています。効果的なブランディングにより地場工務店の価値を高めることで、その地域のインフラ強化に貢献しています。モノからコト、そしてヒトに移り変わる価値観に合わせたコンサルティングで、持続可能な社会実現を支援しています。



関連SDGs



ナックスマートエネルギー株式会社

※2023年4月より、ナックスマートエネルギー株式会社とエースホーム株式会社が合併しナックハウスパートナー株式会社に社名変更

関連SDGs



Nac Smart Energy



● 脱炭素社会実現と災害対策に寄与

2021年度は、6,242kW/hの発電に相当する太陽光パネルの販売・設置を行い、1年間で約2,580tのCO₂削減に貢献しました。

また自然災害の備えとして、家庭用蓄電池の積極的な普及にも取り組んでいます。日常生活においても、太陽光パネルで発電したクリーンエネルギーを蓄電池に貯めて自家消費するという、エネルギーの地産地消にも貢献しています。

● 充電インフラの普及拡大でクリーンエネルギー活用を促進

拡大するEV車(電気自動車)市場において充電インフラの普及拡大に貢献すべく、住宅用EV車充電システム(Vehicle To Home:V2H)の販売・設置に積極的に取り組んでいます。住宅建築・販売会社のみならず、EV車の販売を行うカードィーラーとも提携を進め、クリーンエネルギーを生活の中でもっと身近なものになるよう活動していきます。



関連SDGs



ACE HOME

エースホーム株式会社

● 雇用機会創出を通じ地方創生へ貢献(長崎県壱岐市)

2019年より長崎県壱岐市にテレワークセンターを開設しました。住宅用CADシステムを活用してエースホームのMi'Like(ミライク)推進に寄与しました。同市の雇用機会の創出にも貢献しています。

2023年2月には、これらの取り組みをさらに発展させ、地方や日本の持続可能な未来と共に創造することを推進するため、壱岐市と「エンゲージメントパートナーシップ協定書」を締結しました。エースホームは壱岐市の掲げる「欠けているものを補い合える社会」を目指し、それぞれの“得意”で補完し合うエンゲージメントを推進してまいります。

※長崎県壱岐市は、2018年に「SDGs未来都市」に選定され、「自治体SDGsモデル事業」に選ばれています。



● 脱炭素社会実現に向けてZEH推進

加盟店様とともに積極的にZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)に取り組んでおり、2021年度は契約いただいたお客様の2件に1件となる52%がZEHとなります。

今後も快適・健康的でエネルギー面でも脱炭素につながる住まいを提供してまいります。

年号	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)
目標	50%	55%	60%	65%	75%
実績	52%	—	—	—	—

エースホームの2025年(令和7年)までのZEH普及目標と実績